

平成30年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」(平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知)別紙3の第10の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H28	H29	H30		
岐阜県	郡上市	郡上市	●	●	■	A	地元の山菜生産組合と連携しながら、遊休農地でエゴマ、フキを栽培し圃場の有効活用を図った。毎年、栽培面積が拡張することで地元雇用の拡大が図られ、安定的な生産力の向上と販売額が増加する結果となった。また、地元グループ「座・小駄良」の活動により、山菜生産組合から(株)郡上八幡土里夢へ農産物の下処理を行う役割分担が図られ、(株)郡上八幡土里夢の加工処理能力が向上し、販売量が増加する相乗効果となった。今後も、山菜生産組合、座・小駄良及び(株)郡上八幡土里夢が連携し、継続的に取り組むことで地域全体の活力向上が期待できる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第10の1の規定に基づき、第三者である郡上市農業委員会 会長 岩田 英男から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

郡上市農業委員会 会長 岩田 英男

【意見聴取の概要】

生産組合を1つから2つに増やすという目標は達できなかったが、フキや朴葉の採取、下処理を行う地元グループ「座・小駄良」の活動は、(株)郡上八幡土里夢を加工処理能力を向上させる取組であり、目標達成に近い評価と思われる。また、遊休農地でエゴマ、フキを栽培することにより圃場の有効活用が図られ、栽培面積が年々拡張し、安定的な生産力に繋がっている。商品開発や栽培研修会、講演会に積極的に地元住民も参加され、地域一体となった取組が展開できている。